

# TOPPAN FORMS

第57期 TOPPAN FORMS INTERIM REPORT

## 事業のご報告

第2四半期 平成22年4月1日～平成22年9月30日





# 社長メッセージ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、第57期第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日、以下「当第2四半期」)における事業の概況についてご報告申し上げます。

## 当社を取り巻く環境

当第2四半期におけるわが国経済は、輸出企業を中心とした業績の回復や、政府の景気対策による個人消費の持ち直しが見られるものの、急激な円高の進行により景気回復の動きは鈍化しました。

ビジネスフォーム業界におきましても、IT化の進展と企業の経費引き締めによる、需要量の減少と競争激化による価格の下落傾向が続き、経営環境は一段と厳しさを増しました。

## 事業の取り組みと成果

このような状況のなか当社グループは、顧客志向を徹底した総合的な企画提案による既存市場の深耕と、情報媒体の電子化に対応した新製品やサービスの開発、新規市場の開拓に注力するとともに、市場の変化に対応して事業活動全般にわたる効率化・合理化に取り組みました。

主な事業展開といたしましては、ビジネスフォーム

分野におきまして、すべての人に見やすく、分かりやすく、使いやすい帳票の設計手法である、ユニバーサルコミュニケーションデザインを採用した企画提案を強化いたしました。

DPS分野におきましては、通知業務に付随する業務全般を一括受託する、ビジネス・プロセス・アウトソーシングに領域を広げました。また、生産性向上と品質保証強化に向けて東京都八王子市内に滝山工場を建設し一貫生産体制の整備をはかりました。

電子メディア分野におきましては、無線自動認識(RFID)関連の高機能製品のラインアップを拡充するとともに、近距離無線通信の標準規格、NFCに準拠した製品やアプリケーションの開発につとめました。

さらに、当社の素材・加工技術を応用した産業資材分野を立ち上げ、その一つとして高機能保冷剤「メカクール」を開発するとともに、販路の拡大をはかりました。

以上の結果、当第2四半期の連結売上高は1,129億円(前年同期比 1.0%減)、経常利益は62億円(前年同期比 8.6%減)、四半期純利益は27億円(前年同期比 27.6%減)となりました。

## 社会的責任に対する取り組み

環境問題への対応につきましては、生産拠点を中心に環境マネジメントシステム(EMS)を運用し、環境負荷低減に向けて改善活動を実施いたしました。また、バッテリーを内蔵せず、無線で表示データの書き換え

が可能な、薄型の電子ペーパーラベルを開発するなど、省資源化、省エネルギー化に貢献する製品の開発につとめました。

DPS事業においては首都直下型地震など大規模な災害に対し、リスクマネジメントの視点から事業継続計画(BCP)を策定し、重要な通知物など発送等が深刻な事態にならないよう早期復旧するマネジメントシステムの構築に努めております。

個人情報保護に関しましては、個人情報取扱事業者として経営の最重要課題ととらえ、その機能強化につとめております。

---

## 今後の見通し

---

わが国経済は、一昨年来の世界的な経済危機からようやく脱しつつありますが、円高やデフレ傾向が続くことが予想され、企業業績にも不透明感が残り、予断を許さない状況が続くものと考えられます。

また、当社グループの市場環境におきましても、企業の経費節減による印刷需要の減少や設備投資の抑制など、厳しい状況が続くものと見込まれます。

このような状況を踏まえ当社グループは、ビジネスフォームとDPSで培った技術やノウハウに加え、顧客の通知業務の周辺領域を広範囲に受託する体制の整備や電子メディアの活用、素材・加工技術を応用展開した新市場の創出など、市場の変化に対応した新分野の開拓に注力いたします。また、DPSの一貫製造体制を実現する滝山工場を中心として、

コスト構造の改革を推進し、企業体質の強化と業績の向上につとめてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



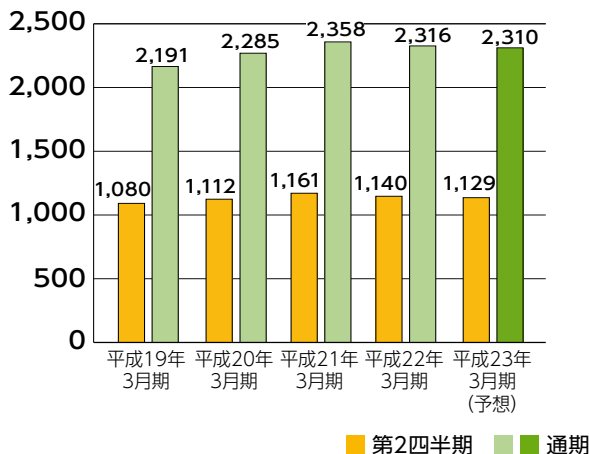
平成22年12月

代表取締役社長 櫻井 醜

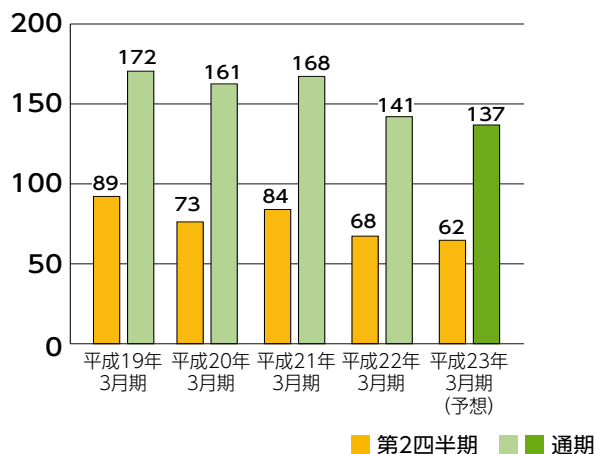


# 業績の概要 (連結)

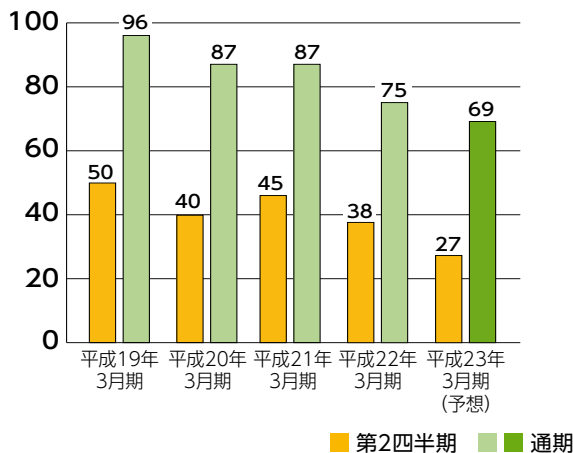
### 売上高 (単位: 億円)



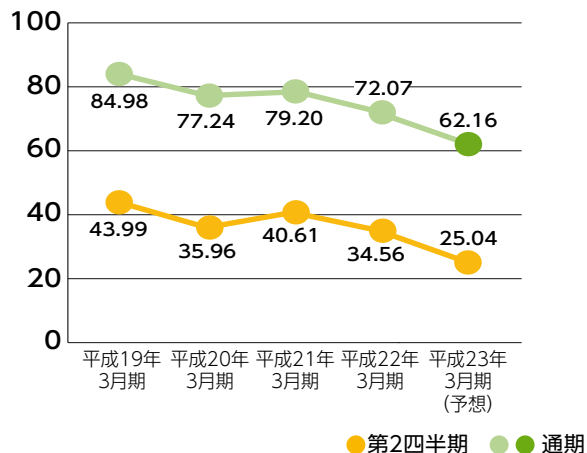
### 経常利益 (単位: 億円)



### 四半期純利益 (単位: 億円)



### 1株当たり四半期純利益 (単位: 円)



## 印刷事業

売上高 884 億円 (前年同期比 1.3%減)

ビジネスフォームでは、企業のシステム投資抑制が続く電子メディア関連が前年を下回りましたが、企業の事業再編に伴う帳票改訂需要や周辺印刷物の取り込みをはかり微増となりました。

DPS では、販売促進用ダイレクトメールの拡販や、通知業務周辺の受託領域の拡大につとめましたが、通知物の簡素化に加え、電子化の動きが見られ、前年を下回りました。

以上の結果、印刷事業全体は減少しました。

## 商品事業

売上高 244 億円 (前年同期比 0.2%増)

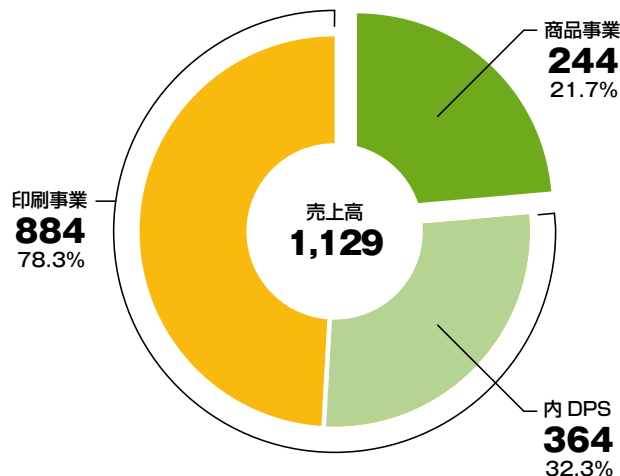
サプライ品は、環境に配慮したプリンター消耗品を積極的に拡販し好調に推移いたしました。

事務機器関連等につきましては、設備投資抑制の影響を受け大幅に減少しました。

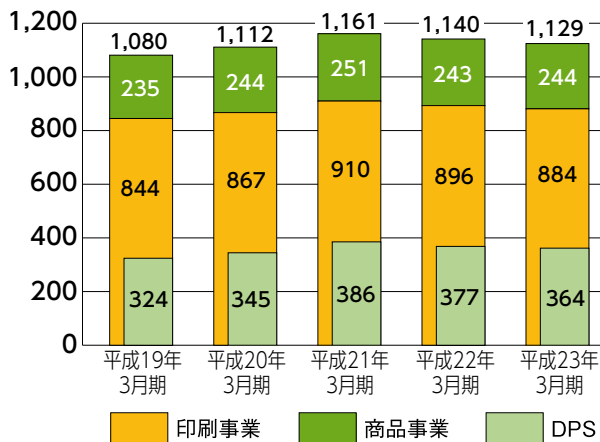
業務運用管理受託事業は、システムの統合化や共同化などの業務を積極的に取り込みましたが、微減となりました。

以上の結果、商品事業全体は微増となりました。

売上高部門別構成比 (単位：億円)



部門別売上高の推移 (単位：億円)





## ■ デジタルサイネージメディア 「タクシーチャンネル」を共同開発

タクシー車内設置型サイネージメディア「タクシーチャンネル」を、日本タクシー広告、テレコムサービス、ソフトバンクモバイル、テレビ東京と共同開発いたしました。当社は「タクシーチャンネル」に搭載するNFCリーダーライターを提供し、今後、料金メーターと連動した運賃決済システムの開発や、「タクシーチャンネル」の番組コンテンツと連動した電子決済などに利用できるよう、技術提供を行ってまいります。



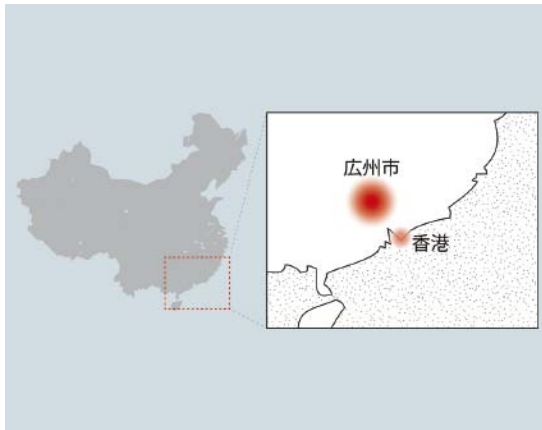
## ■ 高機能保冷剤「メカクール」が JAL機内飲料保冷システムに採用

当社の高機能保冷剤「メカクール」を利用した機内飲料の冷却・保冷システムを、日本航空インターナショナルと共同開発し、10月18日にホノルル線より運用を開始しました。当社の保冷剤は、対象物を適切な温度に冷却、維持することが容易で、ドライアイスのようにCO<sub>2</sub>を放出することなく繰り返し使用できるため環境にやさしい冷却・保冷媒体です。今後はRFIDを活用した物流管理ノウハウを組み合わせ、保冷輸送ソリューションの提供に取り組んでまいります。



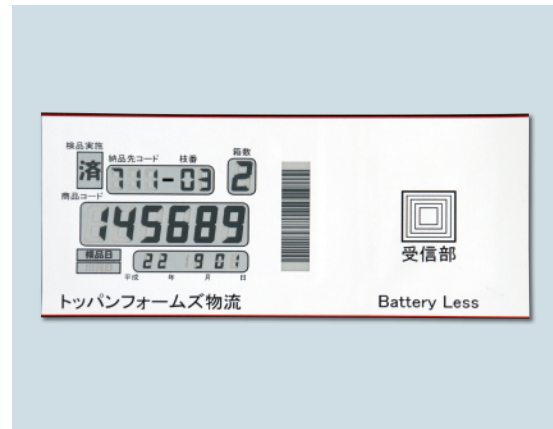
## ■中国・広州市に営業拠点、 広州トッパンフォームズを設立

中国・広州市に「広州トッパン・フォームズ情報技術有限公司」を12月に設立いたします。地元企業や日本、香港からの進出企業など、中国国内で販売活動を行う企業をターゲットに市場を開拓する一方、当社が培ってきたビジネスフォーム、DPS、BPO、RFIDなどの製品やサービスを展開してまいります。当社は国際事業部の拠点を香港に移管し、成長著しい東アジア圏での積極的な事業展開を図り、中期的には海外売上高構成比10%を目指します。



## ■バッテリーレスで無線書き換えが 可能な電子ペーパーラベルを開発

バッテリーレスで表示内容の無線書き換えが可能な電子ペーパーラベルを開発しました。HF帯(13.56MHz)の通信方式でリーダーライターから無線で表示データと電力を受け取り、書き換えを行います。バッテリーの搭載が不要で通信を制御するコントローラー部の厚さを1.0mm以下に抑えたため、従来品のように、張り付け対象となるコンテナの改造などが不要となりました。また、電力残量を気にする必要がなく、さらに使い勝手が向上しました。





## 四半期連結貸借対照表 (単位:百万円)

	当第2四半期	前連結会計年度		当第2四半期	前連結会計年度
	平成22年9月30日現在	平成22年3月31日現在		平成22年9月30日現在	平成22年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>91,141</b>	<b>93,945</b>	<b>流動負債</b>	<b>43,653</b>	<b>44,401</b>
現金及び預金	29,966	30,666	支払手形及び買掛金	25,644	25,732
受取手形及び売掛金	40,710	43,112	短期借入金	354	367
有価証券	2,430	2,429	1年内償還予定の社債	200	—
商品及び製品	8,839	9,359	1年内返済予定の長期借入金	430	699
仕掛品	1,251	1,131	設備関係支払手形	2,465	2,610
原材料及び貯蔵品	2,199	2,220	未払法人税等	1,969	2,214
繰延税金資産	2,114	2,139	賞与引当金	4,146	4,057
その他	3,847	3,085	役員賞与引当金	27	68
貸倒引当金	△ 218	△ 200	工事損失引当金	3	7
			その他	8,411	8,642
<b>固定資産</b>	<b>96,373</b>	<b>93,147</b>	<b>固定負債</b>	<b>4,138</b>	<b>3,910</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>71,708</b>	<b>67,563</b>	社債	—	200
建物及び構築物	23,453	23,866	長期借入金	100	278
機械装置及び運搬具	13,852	15,432	退職給付引当金	2,939	2,889
工具、器具及び備品	1,563	1,732	役員退職慰労引当金	134	329
土地	23,147	21,643	繰延税金負債	133	131
リース資産	92	134	資産除去債務	734	—
建設仮勘定	9,600	4,753	その他	96	80
<b>無形固定資産</b>	<b>2,621</b>	<b>3,106</b>	<b>負債合計</b>	<b>47,792</b>	<b>48,311</b>
その他	2,621	3,106			
<b>投資その他の資産</b>	<b>22,043</b>	<b>22,477</b>	<b>純資産の部</b>		
投資有価証券	12,625	13,622	<b>株主資本</b>	<b>140,022</b>	<b>138,630</b>
繰延税金資産	3,325	2,758	資本金	11,750	11,750
その他	6,315	6,280	資本剰余金	9,270	9,270
貸倒引当金	△ 223	△ 184	利益剰余金	123,919	122,527
			自己株式	△ 4,916	△ 4,916
			<b>評価・換算差額等</b>	<b>△ 802</b>	<b>△ 371</b>
			その他有価証券評価差額金	△ 144	200
			為替換算調整勘定	△ 657	△ 571
			<b>新株予約権</b>	<b>47</b>	<b>57</b>
			<b>少数株主持分</b>	<b>454</b>	<b>463</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>139,722</b>	<b>138,781</b>
<b>資産合計</b>	<b>187,515</b>	<b>187,092</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>187,515</b>	<b>187,092</b>



四半期連結損益計算書 (要旨) (単位:百万円)

	当第2四半期 平成 22 年 4 月 1 日～ 平成 22 年 9 月 30 日	前第2四半期 平成 21 年 4 月 1 日～ 平成 21 年 9 月 30 日
売上高	112,906	114,022
売上原価	88,580	89,738
売上総利益	24,325	24,284
販売費及び一般管理費	18,406	18,148
営業利益	5,919	6,135
営業外収益	492	746
営業外費用	163	45
経常利益	6,248	6,836
特別利益	400	340
特別損失	1,616	446
税金等調整前四半期純利益	5,032	6,730
法人税、住民税及び事業税	2,556	2,950
法人税等調整額	△ 309	△ 80
少数株主損益調整前四半期純利益	2,784	—
少数株主利益	5	24
四半期純利益	2,779	3,836

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:百万円)

	当第2四半期 平成 22 年 4 月 1 日～ 平成 22 年 9 月 30 日	前第2四半期 平成 21 年 4 月 1 日～ 平成 21 年 9 月 30 日
I . 営業活動によるキャッシュ・フロー	9,271	8,595
II . 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,966	△ 4,157
III . 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,866	△ 1,981
IV . 現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 52	18
V . 現金及び現金同等物の 増加額 (△減少額)	△ 613	2,475
VI . 現金及び現金同等物の 期首残高	32,859	31,888
VII . 現金及び現金同等物の 四半期末残高	32,245	34,363



## 会社概要

平成22年9月30日現在

商号	トッパン・フォームズ株式会社
英文名	TOPPAN FORMS CO., LTD.
本店所在地	東京都港区東新橋一丁目7番3号
電話	(03) 6253-6000 (ダイヤルイン案内)
設立	昭和30年5月2日
資本金	117億5,000万円
発行済株式総数	115,000,000株
従業員数	2,407名

## 役員

平成22年9月30日現在

代表取締役社長	櫻井 醜	取締役	黒羽 二郎
取締役副社長	岡田 弘人	取締役	福嶋 賢一
取締役副社長	新田 健二	取締役	小山 信彦
専務取締役	加藤 栄司	取締役	宮下 裕司
常務取締役	玉田 健治	取締役	池内 秀行
常務取締役	広村 俊悟	常任監査役(常勤)	永田 明裕
取締役	足立 直樹	監査役(常勤)	小山内 鏗爾
取締役	関岡 修次	監査役	木下 徳明
取締役	西志 村卓	監査役	佐久間 国雄
取締役	亀山 明	監査役	外山 孟

## 当社の主要な事業所および工場

平成22年9月30日現在

本社	東京都港区東新橋一丁目7番3号	
事業所	営業統括本部	(東京都港区)
	製造統括本部	(東京都福生市)
	東日本事業部	(宮城県仙台市)
	中部事業部	(愛知県名古屋)
	関西事業部	(大阪府大阪市)
	西日本事業部	(福岡県福岡市)
	東京データセンター	(東京都中央区)
工場	福生工場	(東京都福生市)
	日野工場	(東京都日野市)
	川本工場	(埼玉県深谷市)
研究所	開発研究所	(東京都八王子市)

## 株主 (上位10名)

平成22年9月30日現在

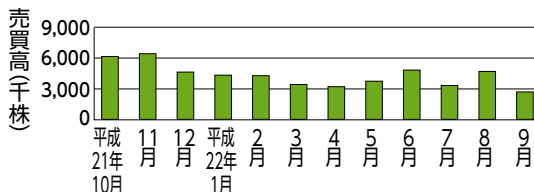
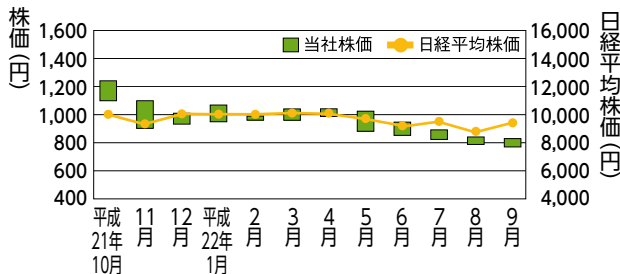
株主名	当社への出資状況	
	株式数 (千株)	持株比率 (%)
凸版印刷株式会社	67,419	60.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,523	4.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,077	3.7
トッパンフォームズグループ従業員持株会	2,202	2.0
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,914	1.7
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,554	1.4
メロン バンク エヌエー アズ エージェント フォー イツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	1,245	1.1
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	1,096	1.0
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505019	960	0.9
ゴールドマンサックスインターナショナル	755	0.7

(注) 1. 当社は自己株式 4,003 千株を保有しておりますが、上記の表から除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株価の推移・株式分布状況

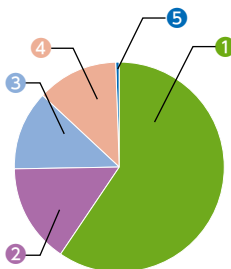
平成22年9月30日現在

### 株価の推移 (東京証券取引所)



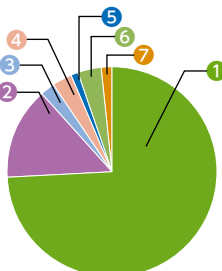
### 株式分布状況 (所有者別) (%)

- ① その他法人 68,613,600株 (59.7%)
- ② 外国法人等 17,343,412株 (15.1%)
- ③ 個人・その他 14,447,850株 (12.6%)
- ④ 金融機関 14,140,200株 (12.3%)
- ⑤ 金融商品取引業者 454,938株 (0.4%)



### 株式分布状況 (所有株数別) (%)

- ① 100万株以上 85,296,775株 (74.2%)
- ② 10万株以上 16,376,287株 (14.2%)
- ③ 5万株以上 2,529,540株 (2.2%)
- ④ 1万株以上 3,451,008株 (3.0%)
- ⑤ 5千株以上 1,427,589株 (1.2%)
- ⑥ 1千株以上 4,150,939株 (3.6%)
- ⑦ 1千株未満 1,767,862株 (1.5%)

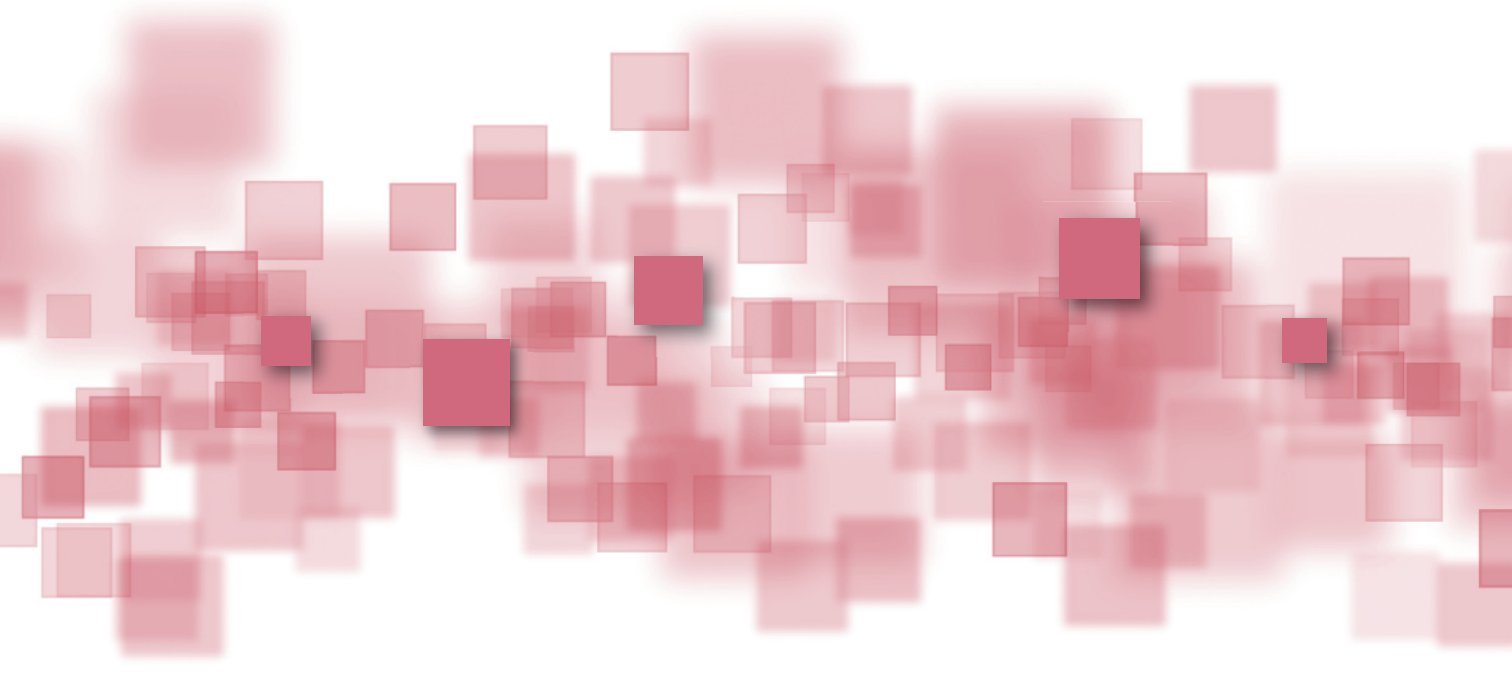


## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ ( <a href="http://www.toppan-f.co.jp/">http://www.toppan-f.co.jp/</a> ) に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (通話料無料)
1単元の株式の数	100株
上場取引所	東京証券取引所
証券コード	7862

### ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社等が受付窓口となります。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。郵便物等の発送・返戻、未受領の配当金等につきましては三菱UFJ信託銀行株式会社に承ります。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に受付いたします。
- 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社等の口座に振替える必要がございます。



## トッパン・フォームズ株式会社

本店 〒105-8311 東京都港区東新橋一丁目7番3号

<http://www.toppan-f.co.jp/>